

1. 事業の位置付け

事務事業名	出前図書館事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
予算科目	01-100503-010000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	当面3～5歳児（将来的には市民全体に拡大）	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
子ども達が図書に触れ、読書の楽しみを知ることにより、創造力や思いやりを養い健やかに成長しています。		子ども達が読書を楽しみ健やかに成長するため、移動図書館車で児童施設などを訪問し、図書の貸出し、おはなし会などを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	巡回回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			72	84	96			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	貸出点数						単位	点
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			3,600	4,400	4,800			
成果指標②	指標名	訪問施設数（幼稚園、保育園等）						単位	箇所
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			12	18	20			
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
実施に当たり市内幼稚園・保育所・入所施設・ろう学校に周知することにより希望を募り、市内幼稚園・保育所を中心に16施設からの希望を受け実施したことにより、子どもたちが図書に触れ合う機会を増やすことができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	図書館に来館しづらい方と子どもたちが図書にふれる機会が増えることから、訪問施設からのニーズがある。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続して実施することにより、訪問施設も増え、図書館に来館しづらい方と子どもたちが図書にふれる機会も増える。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	実績のある施設以外にも再度周知し、訪問箇所を増やすことで更に妥当性が高くなる。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	出前図書館利用者が手にした図書は、施設で回収し、期限になると図書館で引き取りにしている。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

今後に向けた課題の分析

訪問施設を広げることで巡回回数も増え、更に貸出点数も増える。今後は、固定した訪問施設以外に枠を広げられるように周知徹底する必要がある。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				児童施設などの訪問、図書などの貸出し	児童施設などの訪問、図書などの貸出し	児童施設などの訪問、図書などの貸出し		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	804	700	700	0	0
事業費 (A)		0	0	804	700	700	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	114.86				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.15	1.15	1.15	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	9,650	9,650	9,650	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	10,454	10,350	10,350	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性

● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合

<判断理由>

固定した訪問施設以外に枠を広げられるように周知徹底を図ることにより、訪問施設を拡大して実施していく。

平成21年度の実行方針

平成19年度は「あおぞら号」にて出前をしていたが、今後連絡車(軽自動車)に変えることで、受入施設側としても多少のスペースがあれば実施可能となるので、受入施設(訪問施設)を拡大して実施していく。

課長コメント

訪問施設を広げるとともに、施設に適した車(「あおぞら号」、軽自動車)で巡回を行い、事業を充実する。